

はなさくニュース

〒121-0071 東京都足立区東六月町 5-20
TEL 03-6684-3990
FAX 03-6687-2376
e-mail:hanasaku294@yahoo.co.jp
2016.7.5 発行 No.55

土建
さんの

住宅デーで

販売させていただきました

6月5日(日) 本木と関原 2カ所の住宅デーに参加させていただきました。私は本木の担当でしたが、当日の朝も雨：でもそこは土建さん予定になかったテントを張ってくださったり、ブルーシートを屋根にしたテントを作っていたりと「さすが」としか言いようがありません。販売が始まる頃には雨もあがり、テントのおかげでお菓子を売るのに快適な気温となりました。



お客様に「去年も買ったのよ」と嬉しいお声もいただきましたが、今回 私が特に嬉しかったのは、マドレーヌをひとつくち食べたお客様の「これどこでやってるお店のですか?」という言葉です! お店? お店? と本当に嬉しくなりました(笑)。これを励みにまた頑張って販売をしたいと思います。

関原の住宅デーも私が入職する前(10年以上前)から参加させていただいている歴史ある? 販売のひとつです。ずっと花作を気にかけてくださっていた Sさんのおかげで今も関原の住宅デーに参加させていただいてます。本当にありがとうございます。

こんな風に イベント販売も花作を支えてくださっているみなさんのやさしさを感ずる大切な時間です。これからまた秋まで少しイベント販売はお休みですが、どこかで花作の販売をみかけたらぜひお声かけください。

そしてイベント販売のお誘いもお待ちしています。

(職員 Y)



花畑共同作業所の防災対策

梅雨明けも間近となりましたが

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

また日頃より、作業所の活動にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

さて昨今、自然災害による甚大な被害が各地で起こり、この東京でもいつ何時そのような災害が起こっても不思議ではなくなっているのが現状です。

作業所では、利用者の方々の安全を第一に考え対策を取ってまいりましたが、まだまだ至らぬ点多々あり、作業所だけではその対策にも限界があるのも事実です。

そこでご家族の方と作業所が連携を取り、対処していくことで少しでも万全な対策に近づいていければと考え、各自で「非常持ち出し袋」の荷造りをお願いしました。



この背景には、作業所でも備蓄品として、水、非常食を多少なりとも用意しておりましたが、利用者及び職員全員の分となりますと、心許ない量でもありました。また消費期限があるものは、買い換えなければなりません。これには作業所の負担としてはかなり大きなものとなってしまいました。

また、利用者によって必要なものが違ったり、普段使っているものが良いなどの要求もあり、それに答え

ようとするには限界があります。そこで各ご家庭で必要最低限ものをご用意して頂くことで、個人個人のニーズにあったもので非常時に備えができればと考えた次第です。

とは言っても、各自で用意していただくとなると、その大きさ、重さもバラバラになってしまいます。そこでその袋は作業所で用意し、その中に収まるもの、そして自分で持ち運べる重さのものと決めさせていただきます。

そしてその袋は、大きな衣装ケースに入れ、作業所内で保管します。



また年2回、4月及び9月に持ち帰って頂き、中身を確認してもらい、必要によっては物品の入れ替えを行う等をして、再び持ってきてもらうことにしました。

この提案にはご家族の反応も上々で、今ではほとんどの方が用意され、作業所に保管しています。

この非常持ち出し袋が活躍することの無いことを願うばかりですが、いぎの時のため作業所ではこんな対策を取っています。

メディア等で災害のことが報じられていますが、いぎ自分のこととなると「大丈夫」「なんとかなる」と思っていないませんか？

自分を守るのは自分です。今一度、ご自分の災害対策を考えてみてはいかがでしょうか？

防 災 研 修

防災担当職員が「あなたと私のあだち防災プロジェクト」主催の研修「危機管理・防災について～地図からみる安全～」に参加してきました。それぞれ気づかされることがたくさんあった様です。

日常の中で防災に対する意識の薄さと自分の居住する地域は大丈夫なのではないかという根拠のない思いがあると痛感しました。災害を想定することで、地図を見て職場、自宅周辺の危険性等を確認すると非常に興味深いものがありました。興味を持つことにより、そこから発展して防災担当に役立てることができそうです。

職員 A



実際に災害が起きた時にどうするかシュミレートしてみることで、備えることが大切だと強く感じました。また「何より生きるために何かをし続ける。常にBESTじゃなくBETTERを見つける」と熱く語られた講師の体験も交えたお話で、強く自分のできること、目標や目的ということを考えさせられると同時に災害が起こってからでは遅いと意識の変化がありました。

職員 K



非常持ち出し袋

夏の物品販売がスタートしました！

さてさて 恒例の「夏季販売」が始まる時期となりました。

今回は5月の連休明けには もう「まだチラシはできてないの？」と声をかけてくださる方がいらっしゃり…はい…夏の販売なので もう少しお待ちください(笑)とお答えしましたが、この季節の物品販売を楽しみにして下さっているのが伝わり、とても嬉しく、そしてとてもありがたかったです。

この物品販売の納品書作りも仲間の大切な仕事のひとつです。

今期は 渡邊さんと石塚さんにがんばってもらいます。ぜひふたりが困るくらいのご注文をよろしくお願いします。ふたりが今か今かとお待ちしていま～す。

今年から
頑張ります。
よろしく
お願いします。
I N



今年
は
典ちゃんと納品書を頑張ります。
毎年入力が大変だったので、典ちゃんが
一緒にやってくれて嬉しいです。
この仕事では私の方が先輩になるので
いろいろ教えてあげたいです。
W H

本当に？今年がファイナル！！

「第42回足立区障害者夏まつり」があります！

毎年、参加させていただいている「障害者夏まつり」がなんと今年でファイナル！とのこと。長年、会場となっていた 城北特別支援学校と南花畑特別支援学校の工事の関係で「一旦&とりあえず」ファイナルだそうです(笑)。

ここ数年、花作は 会場でチキンナゲットを揚げて販売していましたが 今年は コロケの販売担当となりました。お菓子もちょっとだけ販売させていただきます。

みなさまも ぜひ 今年がファイナルの障害者夏まつりにお越しください。

日時 7月24日(日) 10:30～13:30

場所 城北特別支援学校 駐車場



昨年の夏まつりでの販売